

令和5年度

岩手県暴力団追放県民大会 暴力追放釜石地区会議総決起大会

令和5年度 全国暴力追放運動統一標語最優秀作品

大丈夫？ バイトのつもりが 詐欺加担



岩手県暴力団追放推進センター
シンボルマーク

とき

令和5年 **10月4日(水)** 午後1時30分～

ところ

釜石市民ホール TETTO ホール A

主催 / 公益財団法人岩手県暴力団追放推進センター、暴力追放釜石地区会議

共催 / 岩手県、岩手県警察本部、釜石市、大槌町、釜石警察署

後援 / 朝日新聞盛岡総局、IBC岩手放送、岩手朝日テレビ、岩手日日新聞社、岩手日報社、NHK盛岡放送局、エフエム岩手、河北新報社、共同通信社盛岡支局、産経新聞盛岡支局、時事通信社盛岡支局、テレビ岩手、日本経済新聞社盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、岩手めんこいテレビ、読売新聞盛岡支局

プログラム

■ 第1部

1 開会のことば

暴力追放釜石地区会議副会長 大槌町長 平野 公三

2 あいさつ

(1) 公益財団法人 岩手県暴力団追放推進センター理事長 吉田 瑞彦

(2) 暴力追放釜石地区会議会長 釜石市長 野田 武則

(3) 岩手県警察本部刑事部長 中屋敷 修二

3 表彰

暴力団追放功労者（個人・団体）

4 来賓祝辞

岩手県公安委員会委員長 谷村 邦久

釜石市議会議長 千葉 榮

5 来賓紹介・祝電披露

6 大会宣言

釜石地区更生保護女性の会会長 久保 道子

■ 第2部

1 講話

「最近の暴力団情勢」

..... 岩手県警察本部刑事部組織犯罪対策課長 佐々川 剛

2 アトラクション

(1) 特別講演

「南極探見500日」

～第63次南極地域観測隊同行取材を終えて～

..... 株式会社岩手日報社報道部記者 菊池 健生

(2) 震災甚句

釜石あの日あの時甚句 つたえ隊 北村 弘子・藤原 マチ子

3 閉会のことば

暴力追放釜石地区会議理事 大槌商工会長 後藤 力三

大会宣言

暴力団のない、安全で安心して暮らせる岩手県を実現することは、私たち県民の願いです。

しかしながら、暴力団は今なお、地域社会に存在し、その姿や活動を不透明化させ、あらゆる手段を用いて、資金獲得活動を続け、県民の経済活動や日常生活に大きな不安と脅威を与えています。

私たちは、反社会的勢力である暴力団を根絶するため、今後とも

「暴力団を恐れない」

「暴力団に金を出さない」

「暴力団を利用しない」

「暴力団と交際しない」

の「暴力団追放三ない運動+1（プラスワン）」を実践し、暴力団のない安全で平穏な岩手県の実現に向け、邁進することをここに宣言します。

令和5年10月4日

令和5年度 岩手県暴力団追放県民大会
暴力追放釜石地区会議総決起大会



講 話



岩手県警察本部刑事部組織犯罪対策課長

警視 佐々川 剛 (ささかわ つよし)

【略歴】

平成元年 4 月、岩手県警察官拝命
組織犯罪対策課特捜補佐、捜査第一課次長、盛岡東警察署副署長、
通信指令課長等を歴任し、令和 5 年 3 月から現職



アトラクション



○特別講演

「南極探見500日」 ～第63次南極地域観測隊同行取材を終えて～

株式会社岩手日報社報道部記者 菊池 健生 (盛岡市出身 32 歳)

【略歴】

平成 25 年 岩手日報社 入社
令和 3 年 南極支局 配属

○震災甚句

釜石あの日あの時甚句 つたえ隊 北村 弘子・藤原 マチ子

東日本大震災の出来事や教訓を相撲甚句の節に乗せて伝える「釜石あの日あの時甚句」。これまで、津波から逃れた児童生徒の避難行動を伝える「釜石東中学校、鶴住居小学校編」、津波で亡くなった藤原さんの兄をしのぶ「兄き編」、行方不明の夫への思いを語る「いのり編あなた」、多くの命が奪われた悲しみ、悔しさを表した「防災センター編」など、13年5月までに9編が作られ、震災犠牲者の十三回忌の節目である23年3月に新作を発表。10作目で、題名は「未来の孫へ」。命を守る大切さ、感謝する心、平和への願い…。千年後の子どもたちに今、“残したい思い”が歌詞にちりばめられている。

歌い手と踊り手の2人が息を合わせて、遺族や被災者が抱える思いを代弁しながら、被災地で生きる身として、震災と向き合い、被災者に寄り添いながら、伝えることに真摯に取り組んでいる。

